# システムプログラム 第13回

創域理工学部 情報計算科学科 松澤 智史

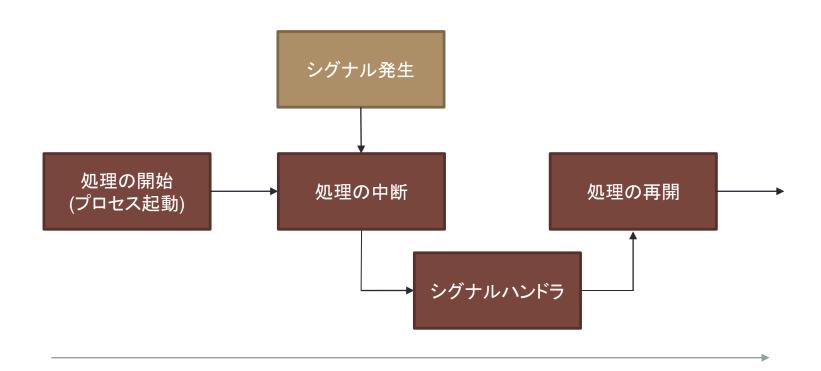
### 本日の内容

- ・シグナル
- X Window System
  - ・ウインドウマネージャ
  - デスクトップ環境

### シグナル

- 非同期イベントをプロセスに伝える仕組み
- ・プログラム実行中の処理に割り込んで別の処理を行わせる
  - 割り込み処理ともいう
- Ctrl-c, Ctrl-zなどの入力もシグナルを発生させる

### シグナルの動作



## SIGINT(Ctrl-c)を使ったサンプル

```
File Edit Options Buffers Tools C Help
#include <stdio.h>
#include <time.h>
#include <signal.h>
#include <unistd.h>
                      ~sleep()用
time t start;
void timer(int n) {
 time t end;
 time (&end);
 printf("SIG ID=%d, time=%d\n",n, end-start);
int main() {
  time(&start);
 signal (SIGINT, timer); シグナルハンドラ
 while(1){
                           signalシステムコール
    sleep(1);
U:--- timer.c
                     All (8,13)
                                    (C/*l Abbrev)
```

Ctrl-cを押すごとに プログラム起動時からの経過秒を表示 (timer関数を実行)

```
t-matsu@X1E ~/work/3IS/SystemProgram $ ./timer
SIG ID=2, time=3
SIG ID=2, time=4
SIG ID=2, time=6
SIG ID=2, time=8
SIG ID=2, time=19
```

Ctrl-cでプログラムが 停止しないので注意

# シグナルの種類

シグナル名	シグナル番号	説明
SIGHUP	1	端末クローズ
SIGINT	2	Ctrl-c
SIGQUIT	3	Ctrl-¥ (コアダンプ)
SIGILL	4	不正な命令実行
SIGKILL	9	強制終了
SIGSEGV	11	不正なメモリアクセス
SIGSTOP	19	プロセスの一時停止
SIGTSTP	20	Ctrl-z

代表的なシグナルのみ抜粋

### kill コマンド

\$ kill -シグナル名/シグナル番号 送信先プロセスID

- 内部的にはkillシステムコールを使用
- ・送信先プロセスに指定したシグナルを発生させる

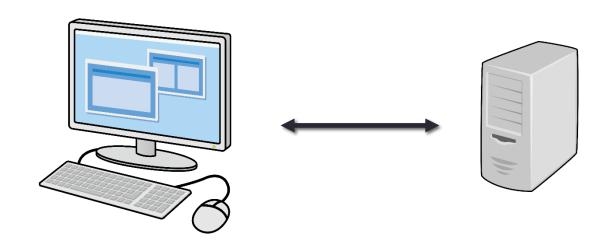
```
-matsu@X1E ~/work/3IS/SvstemProgram $ ./timer
SIG IÐ=2, time=2
SIG IĐ=2. time=2
                         Ctrl-zで停止
                            ./timer
:-matsu@X1E ~/work/3IS/SystemProgram $ ps
                                               197609 10:25:32 /usr/bin/bash
                                     pty0
                                               197609 10:55:01 /home/t-matsu/wo
                                     ptv0
           mProgram/timer
                                               197609 10:25:39 /usr/bin/emacs-w
                                     pty0
         該当プロセスID
                                               197609 10:25:31 /usr/bin/mintty
                                               197609 10:55:12 /usr/bin/ps
                                     ptv0
         |E ~/work/3IS/SystemProgram
                                    $ kill -9 398
         1E ~/work/3IS/SystemProgram
                                              SIGKILL(番号9)をtimer実行のプロセスへ
```

### X Window System

• GUI環境を実現するシステム

・Xサーバと Xクライアントに分割





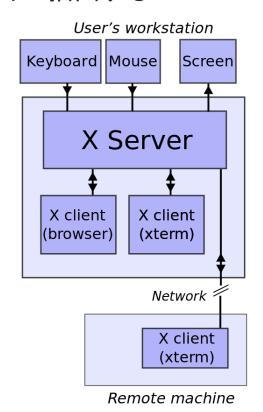
Xサーバ

Xクライアント

### X Window System

- Xサーバ
  - マウス, キーボード, タッチパネル等からの入力をXクライアントに伝える
  - Xクライアントからの指示にしたがってディスプレイに描画する
- Xクライアント
  - ウインドウ表示される端末などが該当する

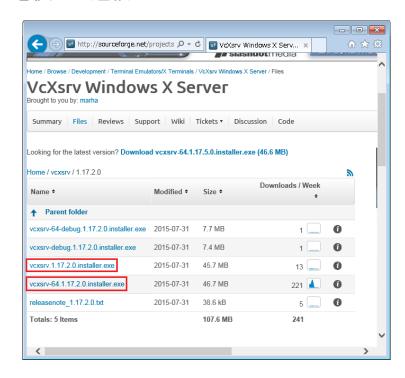




### X Window System

- 1984年 MITで開発
- サーバ・クライアントモデルを採用
  - ・ XサーバとXクライアントは、物理的に別の計算機で動作させることも可能
  - XプロトコルというOS非依存の通信プロトコルを使って通信
  - ・Xサーバ専用のディスクレスの端末も存在
- X, X Window, X11などの 様々な呼称が存在





### ウインドウマネージャ

- ・ 画面(ウインドウ)の描画やマウスの操作などの定義を行うソフトウェア
- ・ウインドウ(外観)
  - ・表示位置・サイズの管理
  - タイトルバーなどの装飾
  - ウインドウを操作するためのメニュー管理
- アイコン, ランチャーなどの管理
  - ウインドウマネージャ専用のソフトが同梱されている場合もある
  - ウインドウマネージャによっては管理しないものもある

### デスクトップ環境

- 様々な X クライアントと統合
- 一般的なGUI環境と開発プラットフォームを提供
- ウインドウマネージャを含む、GUI全般を管理するシステム
  - ウインドウマネージャと同義の説明もあるが、厳密には異なる
- ・Linux(Unix)では、様々なウインドウマネージャや デスクトップ環境を自由に切り替えて使用することが可能

### 代表的なデスクトップ環境

#### GNOME

- 多くのディストリビューションで採用されているデフォルトデスクトップ環境
- 他のデスクトップ環境に比べて使用メモリを量が多め

#### Unity

- GNOMEをベースにUbuntuのために作られたデスクトップ環境
- Dash(アプリ・ファイル検索)やアプリ起動ランチャーなどが特徴
- Macを多少意識している(らしい)
- カスタマイズしにくい
- ・ 現在は開発中止

#### KDE

- GNOMEと肩を並べた人気デスクトップ環境
- Windowsに似ている
- Gnome, Unity同様使用メモリ量は多め





# 代表的なデスクトップ環境

#### Xfce

- パフォーマンス重視のデスクトップ環境
- LibreOfficeの代わりに独自の word系アプリなどを採用
- メモリ消費量は少なめ

#### LXDE

- パフォーマンス重視のデスクトップ環境
- Windowsに似ている
- メモリ使用量はかなり少ない

#### MATE

- LXDE同様最軽量デスクトップ環境
- GNOMEから派生

#### Cinnamon

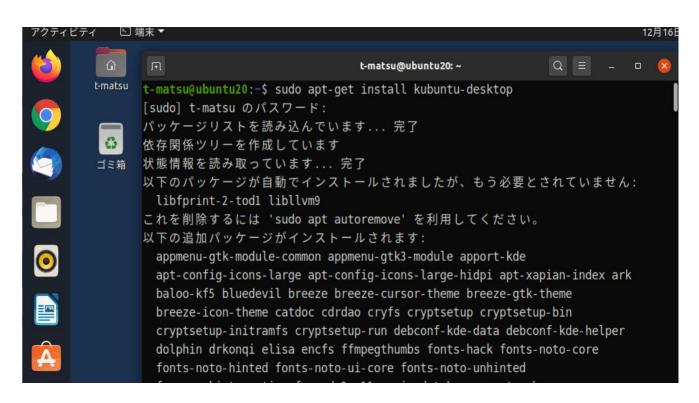
- MATEよりは多少重めだが機能は豊富
- GNOMEから派生





### 実験(KDE)

\$ sudo apt-get install kubuntu-desktop



KDEは重量級デスクトップ環境なので多少時間がかかる

# 実験(KDE)



起動ロゴも変わる ※戻すことも可能

このままログインすると普通にUnity

KDEのウインドウマネージャPlasmaに 変更してログイン



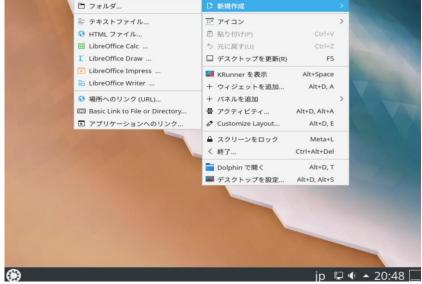
# 実験(KDE)



#### 無事起動

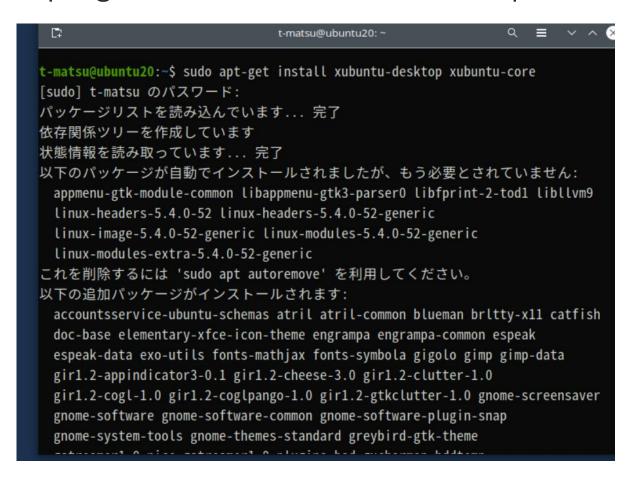
Windows風ウインドウマネージャPlasma がデフォルト

Unityより重い

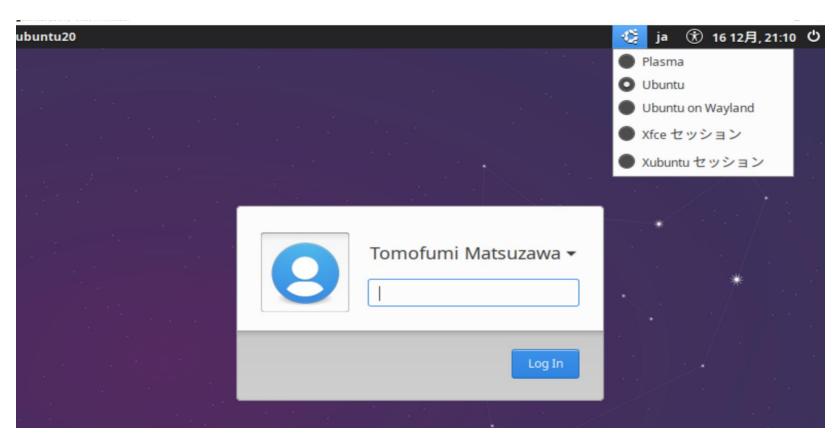


# 実験(Xfce)

\$ sudo apt-get install xubuntu-desktop xubuntu-core

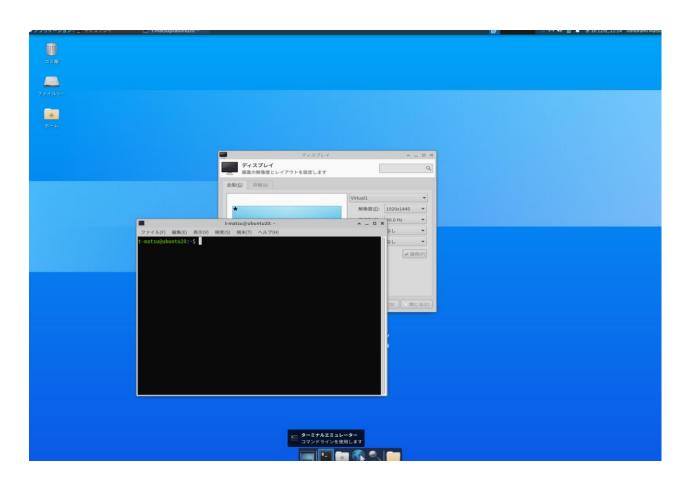


# 実験(Xfce)



今回はログインマネージャもXfce用の lightDMに変更

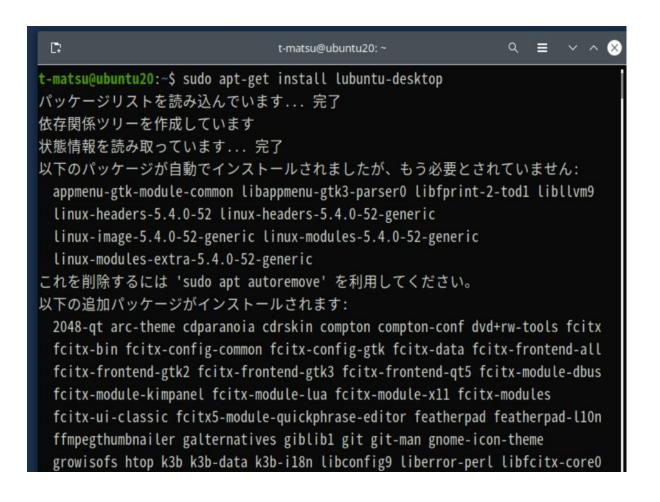
# 実験(Xfce)



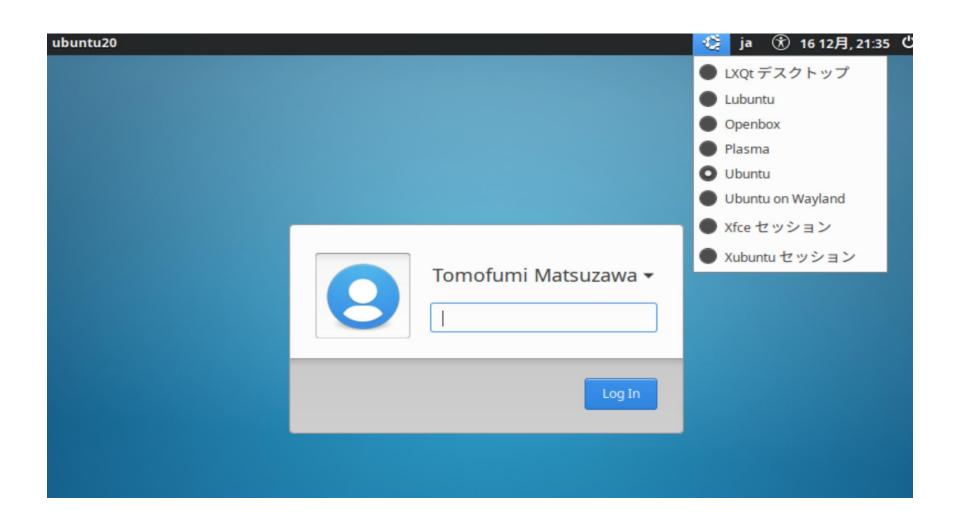
ログイン後 かなり軽量

# 実験(LXDE)

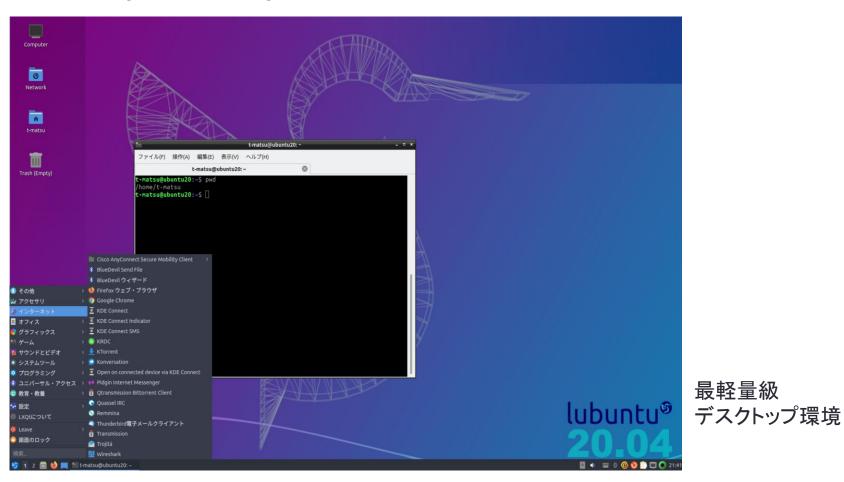
\$ sudo apt-get install lubuntu-desktop



# 実験(LXDE)



# 実験(LXDE)



最軽量級

### まとめ

- ・シグナル
  - プログラムの中断, 割り込み処理が可能な機能
  - 様々な利用方法がある
- X Window System
  - XサーバとXクライアントに分離
- ウインドウマネージャ
  - ウインドウ制御やマウスなどのGUI入力を管理
- デスクトップ環境
  - ウインドウマネージャを含むGUI全般の管理システム
  - 様々な種類があり、ユーザが選べる

# 質問あればどうぞ